

各 位

上場会社名 株式会社 ナガワ
 代表者 代表取締役社長 高橋 修
 (コード番号 9663)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 矢野 範行
 (TEL 048-648-6111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月3日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	0	50	20	1.22
今回発表予想(B)	9,399	△70	△17	△88	△5.62
増減額(B-A)	△101	△70	△67	△108	
増減率(%)	△1.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	10,790	985	1,036	535	32.81

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	0	50	20	1.22
今回発表予想(B)	9,423	△29	29	△39	△2.53
増減額(B-A)	△77	△29	△21	△59	
増減率(%)	△0.8	—	△42.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

修正の理由

平成22年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、長引く景気の低迷により、民間設備投資に回復の兆しがないまま推移しており、この傾向はまだしばらく続きそうな状況にあります。このような厳しい経営環境のなか、ユニットハウスのレンタルシェアの拡大と新規需要の開拓を積極的に推進する一方、デフレ経済に対応するべく、全社的なコストの見直しと効率化を推進し固定費の削減に注力してまいりました。しかしながら、備品等の少額資産の投資が計画を上回って推移したことや、中古販売が計画を下回ったことから、売上・利益とも前回予想を下回る結果となりました。

個別業績予想の修正理由は連結業績予想の修正と同様の理由により、前回発表を修正いたします。

なお、平成22年3月期通期連結業績予想及び平成22年3月期通期個別業績予想につきましては、引き続き厳しい経営環境と予想されますが、上期に講じた全社的なコストダウンと物流管理の効率化により固定費の大幅な削減が見込めることや貸与資産の効率的運用の強化により備品等の少額資産の投資が抑制されることから、前回予想(平成21年8月3日付公表)を据え置きといたします。

以 上

ご参考

通期の業績は、前回公表した予想から、大きな変動はないものと見込んでおります。ご参考までに、前回公表した通期業績予想は下記のとおりです。

平成 22 年3月期連結累計期間連結業績予想数値

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	19,000	200	300	160	9.78
(ご参考)前期実績 (平成 21 年3月期)	21,042	1,141	1,248	641	39.48

平成 22 年3月期個別累計期間個別業績予想数値

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	19,000	200	300	160	9.78
(ご参考)前期実績 (平成 21 年3月期)	21,040	1,270	1,400	737	45.37

(注)1. 平成 21 年8月3日付公表数値です。

(注)2. 上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定していますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより当該予想と乖離する結果となりうることをご承知おきください。

以 上